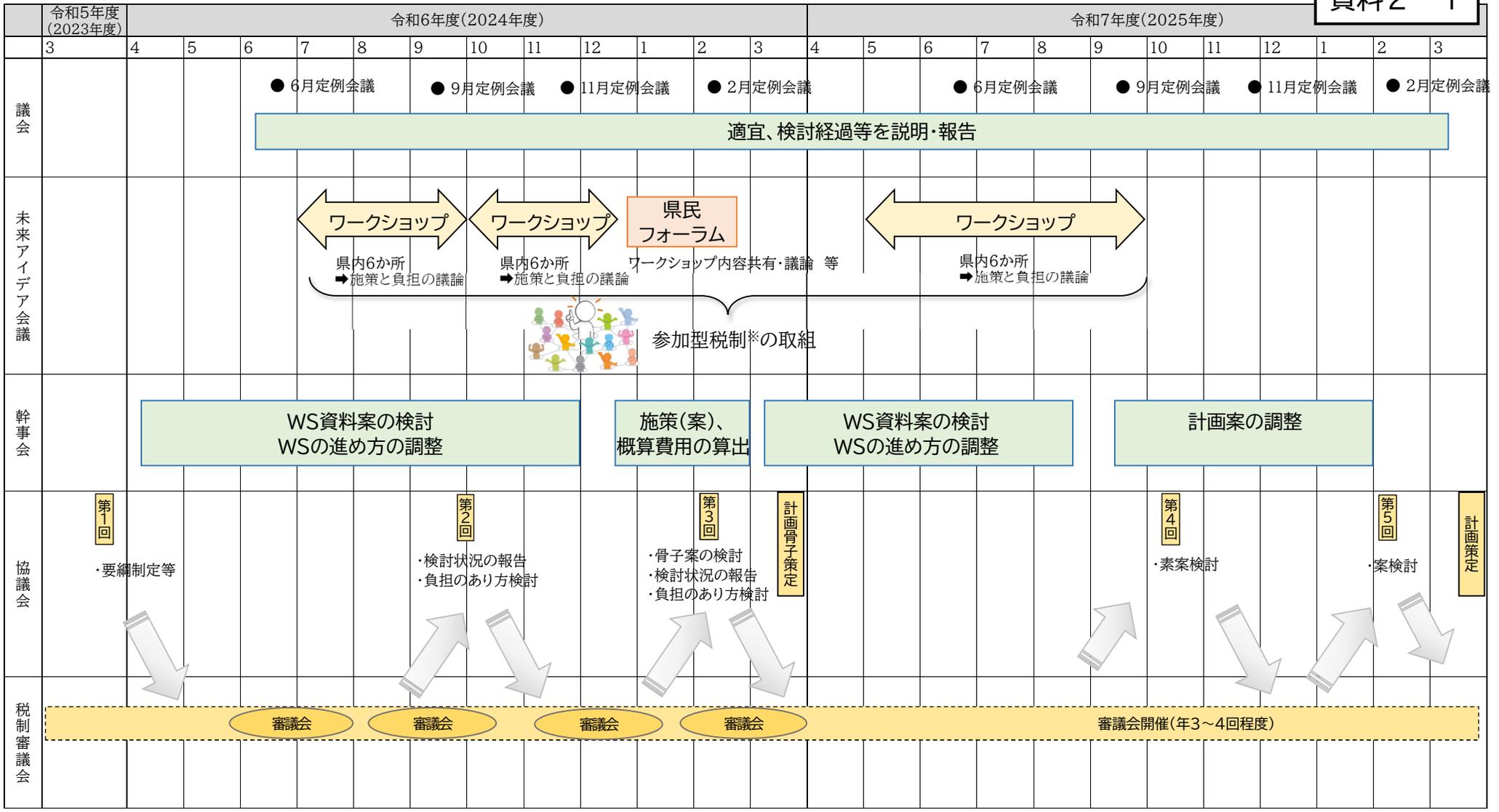


滋賀地域交通計画策定スケジュール（案）

資料2-1



税制審議会答申

※ 参加型税制……納税者である住民が、単に費用を負担するだけでなく、負担を巡る議論を通じて、ともに地域の将来像を描いていく仕組み
 ・税を巡る議論に多くの住民が参加することにより、その住民との合意形成の過程自体を通じて、住民のニーズを掘り起こしていくとともに、住民にも理解と納得感を持ってもらうことが肝心である。

滋賀地域交通計画策定に係る施策と財源（税制度含）の検討の進め方について（令和6年度）

- ・令和6年度は、県内各地域における未来アイデア会議（ワークショップ等）を中心に、ビジョン実現に向けた施策の検討と財源の議論を進め、
「**施策（案）**」とかかる「**概算費用**」を算出するとともに、その「**財源（税制等）**」の議論を進展

県民の皆様との対話と議論の当面の進め方（案）

税制審議会 ※今回

➔ スケジュール確認、ワークショップ（第1回）の進め方、実施の概要や論点整理等について

ワークショップ 第1回 令和6年7月～9月（県内6か所）

- ・県内各地域（圏域）の地理的側面、人流等の状況や、市町の施策、**公共交通の現状等を整理、確認**
- ・それぞれの圏域のニーズ等を踏まえた望ましい移動手段とあり方を議論し、**施策を検討**
- ・新しい施策を考えると、必要な**財源をどう賄うのか、負担をどう考えるのか**等

税制審議会

➔ ワークショップ（第1回）での実施結果等を踏まえた、第2回の進め方、論点整理等について

ワークショップ 第2回 令和6年10月～12月（県内6か所）

- ・ワークショップ第1回の議論、検討を踏まえた**施策案について、より議論を深化**
- ・施策等に係る概算費用の算出を踏まえた、新たな財源の必要性等を含む**財源（負担）の議論**

税制審議会

➔ ワークショップの対話を踏まえ、県民フォーラム、税制度を採る場合の議論の進め方等について

県民フォーラム 令和7年1月

庁内関係所属による「**施策**」と「**財源**」の検討

滋賀地域交通計画の策定に向けて、さらに県民の皆さんとの対話を進める